

審査委員

樞密顧問官 清水 澄

樞密顧問官 南 弘

樞密顧問官男爵 奈良 武次

樞密顧問官 松浦鎮次郎

樞密顧問官 潮 惠之輔

樞密顧問官 二上 兵治

樞密顧問官 眞野 文二

樞密顧問官 伊澤多喜男

樞密院議長 原 嘉道殿

昭和十七年三月二十六日

委員長 有馬 頼問官

委員 清水 頼問官

潮 頼問官 林 頼問官

二上 頼問官 大島 頼問官



陸軍省官制中改正ノ件外ニ件審査報告

秘

陸軍省官制中改正ノ件外二件審査報告

今回御諮詢ノ陸軍省官制中改正ノ件、海軍省官制中改正ノ件並ニ陸軍法務官及海軍法務官任用令廢止等ノ件ニ付本官等審査委員ヲ命ゼラシ本月二十四日委員會ヲ開キ當局大臣及關係諸官ノ説明ヲ聽キテ之ガ查覈ヲ遂ゲタリ今本案各件ノ要旨ヲ陳ブレバ左ノ如シ

第一 陸軍省官制中改正ノ件

(一) 兵務局ノ分課ノ變更

近時馬政特ニ獸醫關係ノ事務ノ複雑多岐ヲ

加へ來レルニ鑑シ馬政課ヲ別テ馬政課及
獸醫課ト爲シ(第卅)馬政課ノ所掌事務ニハ從
前ノ掌理事項ノ一半ノ外ニ軍馬政ノ基本ニ
關スル事項ヲ加ヘ(第卅)獸醫課ノ所掌事務ニ
ハ從前ノ馬政課ノ掌理事項ノ一半ノ外ニ軍
用動物ノ衛生及裝蹄ニ關スル事項ヲ加フ(第
卅)

(二) 法務局其ノ他局課ノ事務ノ整理

(イ) 人事局恩賞課ニ於テ其ノ所掌事務ノ内容
ヲ明記スル爲扶助ニ關スル事項ヲ改メテ軍

人援護職業輔導其ノ他厚生ニ關スル事項ト
シ恩給及賜金ニ關スル事項ニ加フルニ扶助
金ニ關スル事項ヲ以テシ(第卅) (ロ) 今回建技武
官ヲ經理部ニ設クルニ伴ヒ之ガ勤務及教育
ニ關スル事項ハ經理局主計課ノ所掌事務ニ
含マルルニ因リ同局建築課ノ所掌事務ヨリ
建築ニ従事スル技師以下ノ勤務及教育ニ關
スル事項ヲ削リ(第卅) (ハ) 陸軍司法事務官及
陸軍法務官ヲ廢止スルニ伴ヒ法務局ノ所掌
事務中ニ措辭ノ整理ヲ施シ且法務部ノ戰時

諸規則ニ關スル事項ヲ加フ(第三十條)

(三)職員ノ變更

(1)陸軍省ノ事務官ハ其ノ性質及待遇ニ於テ本省以外ノ部隊等ニ設置セル陸軍理事官ト同様ナルニ鑑ミ人事ノ融通運用ニ便ナラシメシガ爲之ヲ理事官ニ合一スル趣旨ヲ以テ別案ニ依リ理事官ノ定員ヲ増加スルト共ニ陸軍省官制中ヨリ事務官ニ關スル規定ヲ削除シ(附四)其ノ陸軍理事官ヘノ任用ニ付經過規定ヲ設ケ(附二期)附表中事務官ヲ理事官ニ

改メ(10)前記兵務局ノ分課ノ變更ノ結果兵務局ノ課長一人ヲ増シ但ダ當分ノ内他ニ本職ヲ有スル者ノ兼務トシ其ノ他建技部將校及法務部將校ノ新設並ニ司法事務官ノ廢止ニ伴ヒ經理局ノ課長及課員並ニ法務局ノ局長及局員ノ官名ヲ補充又ハ變更シ其他所要ノ改正ヲ爲ス(附表)

第二 海軍省官制中改正ノ件

(一)兵備局ノ分課ノ變更

近時海軍ニ於ケル勞務關係ノ事務及國家總

動員法ニ依ル徵用關係ノ事務ノ激増ト複雑
化トニ伴ヒ之ガ統轄處理ニ任ゼシムル爲兵
備局ニ第四課ヲ新設シ(第九條)同局第二課ノ
所掌事務中勞力ノ需給調整ニ關スル事項國
家總動員法ニ依ル徵用ニ關スル事項及其ノ
他勞務一般ニ關スル事項ヲ削リ(第九條)之ヲ
同局第四課ノ所掌事務トス(第九條)
(二)醫務局ノ分課ノ新設
海軍各部ノ人員激増ノ結果醫務衛生關係ノ
事務ハ一層複雑多岐ト爲レルニ伴ヒ醫務局

ヲ二課ニ分キ(新第十條)從前ノ醫務局ノ掌理事
項ニ少許ノ改正ヲ加ヘ其ノ一半ヲ第一課ノ
所掌事務トシ(新第十條)他ノ一半ヲ第二課ノ所
掌事務ト定メ(第十條)之ニ伴ヒ關係規定ニ整理
ヲ施ス(第十條)

(三)法務局ノ事務ノ整理
今回海軍司法事務官及海軍法務官ヲ夫々廢
止シ海軍法務科士官ヲ新設スルニ伴ヒ法務
局ノ掌理事項中ニ整理ヲ加ヘ且軍事司法ノ
教育ニ關スル事項ヲ加フ(第二十條)

(四) 職員ノ變更

(イ) 海軍事務官モ前記陸軍事務官ヲ廢止スル
ト同様ノ理由ニ依リ之ヲ廢止シ海軍理事官
ニ合一スル爲別案ヲ以テ海軍理事官ヲ増員
スルト共ニ海軍省官制中ヨリ事務官ニ關ス
ル規定ヲ削除シ(附四)其ノ海軍理事官ハ任
用ニ付經過規定ヲ設ケ(附別表中事務官ヲ理
事官ニ改メ(四)法務科士官ノ新設及司法事務
官ノ廢止ニ伴ヒ法務局ノ局長及局員ノ官名
ニ變更ヲ加フルト共ニ前記兵備局及醫務局

ノ分課ニ關スル改正及局務ノ増加ニ伴ヒ軍
務兵備人事軍需醫務經理各局ノ課長又ハ局
員ヲ増加シ前記ノ理事官並ニ屬及技手ノ増
員ト併セ通計本省全職員ニ於テ三十九人ヲ
増加シ其ノ他所要ノ改正ヲ爲ス(附)

第三 陸軍法務官及海軍法務官任用令廢止等
ノ件

昭和十七年法律第七十八號陸軍軍法會議法
中改正法律及同年法律第七十九號海軍軍法
會議法中改正法律ハ軍司法ノ本旨ニ鑑ミ陸

軍及海軍ノ軍法會議ノ組織ニ變更ヲ加ヘ文
官タル陸軍法務官又ハ海軍法務官ヲ廢シ之
ニ代フルニ法務官ヲ置クコトトシ別案ノ陸
軍武官官等表及海軍武官官階中ノ改正ニ依
リ新設スベキ陸軍ノ法務部將校又ハ海軍ノ
法務科士官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ定メ夕
リ(前條及各法律第三十五條)乃チ本件ハ右法律ノ施
行ニ伴ヒ關係勅令ヲ改廢シ兼ネテ之ヲ整備
セントスルモノニシテ其ノ主旨トスル所ハ
(一)陸軍法務官及海軍法務官任用令陸軍司法

事務官及海軍司法事務官特別任用令並ニ陸
軍法務官及海軍法務官懲戒令ハ孰レモ之ヲ
廢止シ(第一條)(二)文官任用令中奏任文官ノ任用
資格ニ關スル規定並ニ陸海軍監獄官特別任
用令中陸海軍ノ監獄長及監獄看守長ノ任用
資格ニ關スル規定ニ夫々必要ナル改正ヲ加
ヘ(第二條及第三條)(三)本案勅令ノ施行前陸軍法務官
又ハ海軍法務官ノ職ニ在リタル者ハ右二勅
令ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依リ之
ヲ任用スルコトヲ得(附則)ルモノト爲サントス

ルニ在リ

按ズルニ本案ノ三件中第一及第二ノ件ハ陸軍省及海軍省ニ於テ現下ノ事態ニ基キ著シク繁劇ヲ加ヘタル軍政事務ノ處理ニ遺憾ナカラシメンガ爲其ノ部局ノ構成及所掌ヲ適宜變更シ之ニ伴ヒテ職員ノ配置ヲ改正シ兼ネテ關係法令ノ改廢ニ伴ヒ職員ノ官名ヲ整理シ其ノ他條項ヲ整備セントスルモノ、第三ノ件ハ軍法會議法ノ改正ニ伴ヒ廢止セラレベキ官ニ關係アル各種勅令ヲ改廢セシコトヲ主眼トスルモノニ

シテ孰レモ別段支障ノ廉ヲ認メズ仍テ審査委員會ニ於テハ本案ノ三件ハ此ノ儘可決セラレ然ルベキモノト全會一致ヲ以テ議決シタリ
右審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十七年三月二十六日

審査委員長

樞密顧問官

有馬

良橘

審査委員

樞密顧問官

清水

澄



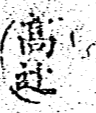
樞密顧問官男爵奈良

武次

樞密顧問官 潮 惠之輔
 樞密顧問官 林 頼三郎
 樞密顧問官 二上 兵治
 樞密顧問官 大島 健一

樞密院議長 原 嘉道 殿

昭和十七年三月五日立案

書記官長  主筆 書記官 
 書記官 

大藏省官制中改正、件外三件
 審査教生

(別紙、通)